

品目団体による輸出促進のための取組について

- 品目団体の認定制度は、輸出促進法に基づき、輸出重点品目ごとに、**生産から販売に至る関係者が連携し輸出の促進を図る法人**を、その申請に基づき、**所管大臣が認定品目団体として認定するもの**。
- コメ・コメ加工品の輸出においては、これまで**全米輸がオールジャパンでの需要開拓等を担ってきたところ**。
- 令和4年12月5日付けで全米輸が輸出重点品目である「**コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品**」の**認定品目団体として認定**。
- 全米輸では、引き続き、コメ・コメ加工品の輸出拡大に向け、**オールジャパンでの需要開拓や現地ニーズの把握、会員数の増加による自己財源の確保等**を行っていく考え。

品目団体の法認定要件

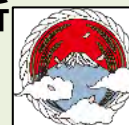
- **生産から販売に至る事業者が構成員に含まれ、業界の輸出関係者全体を代表して取組を実施できる体制**を有している。
- 輸出促進業務を実施するために必要な**自己財源の確保に向けた方針**を有している。
- 輸出先国における**オールジャパンでの需要の開拓等の業務**を行う。

全米輸における取組

- 全米輸には、米卸・輸出事業者のほか、産地である全農・ホクレン等が会員として参加。プロモーション事業の開催や輸出先国・地域別の情報発信等を実施。
- また、
 - ① **会費水準を見直し（引き下げ）、会員数の増加に努めるとともに、事業参加負担金の徴収による自己財源の確保**
 - ・ 正会員の年会費を30→15万円に引き下げ
 - ・ 1事業参加毎に事業費の2%（上限20万円）を参加負担金として徴収
 - ・ 事業に参加しない産地及び事業者等向けに賛助会員制度（年会費3万円）を導入
 - ② **会員サービスの強化（専門家の活用による相談対応、情報発信等）**
 - ③ **会員ニーズに沿った事業の企画**を図る。
- 全米輸において日本産コメ・コメ加工品の輸出促進のため、
 - ① **統一ロゴマークを作成、プロモーション等において活用**
 - ② **日本産米の品質面の優位性に関する調査・分析**を実施。
- また、効率的な輸出に向けて、物流面・規格等についての会員間での意見交換等を実施。
(スマート・オコメ・チェーンについても積極的に関与)



認定品目団体
認定式の様子



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

コメ海外市場拡大戦略プロジェクトについて

国・品目団体等による支援

《国による支援》

- ・（新たに）輸出に取り組む事業者・産地に対するマッチング・相談等サポート
- ・輸入規制についての情報発信

《品目団体等による支援》

- ・海外マーケット動向についての情報発信
- ・専門家による相談対応等

支援

輸出事業計画作成事業者

輸出産地

特に、千トン超の輸出用米生産に取り組む産地は「輸出産地」としてリスト化し、重点的に支援。

今後は、

- ・輸出事業計画を策定し、課題と取組内容を明確化して輸出拡大を図る
 - ・品目団体と連携して海外需要開拓に取り組む
- 事業者に対して支援を重点化。

（事業計画策定者は、輸出促進法に基づく融資等の支援を活用可能。）

戦略的輸出基地（産地）

海外マーケットに対応可能な、質、数量、価格の面で競争力を有するコメの生産を推進。



戦略的輸出事業者（卸、輸出商社、メーカー等）

輸出拡大の目標、当該目標達成のためのターゲット国・地域・市場及び取組方針を掲げ戦略的に海外市場を開拓。



産地と輸出事業者が一体となったマーケットイン型の海外需要開拓



輸出目標の達成に向けたコメ・コメ加工品輸出の飛躍的増加

コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

【取組概要】

主食用米の消費減少の中、農家所得の向上と将来の販路拡大を見据え、平成30年度に大手米卸業者である神明の提案をきっかけに、輸出用米の取組を開始。

生産者向け説明会を何度も開催した結果、輸出用米に取り組む生産者は平成30年度の235人から、令和4年度には492人に増加。

令和2年度には輸出開始当初の目標である輸出量2,000トン进行達成。令和7年度の目標として輸出量3,000トンを掲げていたが、令和3年度に達成。今後も継続安定した出荷を目指す。輸出先は、香港を中心にアメリカ、シンガポールなどとなっている。

【輸出用米の供給拡大に向けた課題への対応】

令和4年度の輸出用米の作付面積は管内の米作付面積全体の約7%に過ぎず、更に拡大できる余地があるが、外国産米との価格差がネックになっている。一方で、輸出事業者からは、低価格で安定した品質のコメを供給することが求められている。

このため、つきあかり等の多収性品種（※）の導入と併せて、耕畜連携による堆肥の有効活用を図り低コスト生産を推進し、輸出用米の生産拡大と生産者手取り確保の両立を図っている。生産された多収品種は香港の寿司チェーン等で提供。

また、特別栽培米である環境保全米の生産を進めており、国内外で評価されるコメ作りにも意欲的に取り組んでいる。

※「つきあかり」は「ひとめぼれ」より10%程度収量が多い。



○ 香港の販売先及び宮城県登米産米のPR



○ 輸出用米の生産量

（単位：トン）

品種名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ひとめぼれ	938	1,291	1,784	2,126	2,087
つきあかり	0	544	641	886	919
計	938	1,835	2,425	3,012	3,006